

緑のセンターだより

No.310 令和7年1月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ミツバ

セリ科 ミツバ属

Cryptotaenia japonica

形態：多年草で、晚春～初夏時の種まき後、根出葉は葉柄が30～40cmになり先端に先の尖った鋸歯卵形の3枚の小葉が付きます。冬、低温に当たると春に花茎が伸びて直立し、60cmほどに達して短い葉柄の付いた葉の節から分枝して枝先に線香花火状にパラパラと花が付きます。

自生地：野生種は東アジアの日本、中国、朝鮮半島と、北米大陸に自生し、数少ない日本原産野菜です。自生地の環境は、明るい日陰から木漏れ日がそぞろ半日陰の湿り多い地で、樹木・山野草などと混生しています。

歴史：栽培の始まりは、江戸時代初期の「百姓伝記」(1682年ころ)に、正月に収穫できる早出し栽培についての記述があります。「農業全書」(1697年)に栽培や食べ方が記され「うえたもののほうがさらによし」という記述があります。「大和本草」(1709年)では挿絵がついています。17世紀には軟化栽培が導入され、遮光栽培による糸ミツバ(白ミツバ)の生産、明治時代には西日本で栽培が定着していました。

現在、生産量の9割を占めている水耕栽培ミツバ(市場呼称：糸ミツバ(又は青ミツバ))の生産は1964年ころから試作が行われ、全国に広がりました。

呼称と姿・栽培

糸ミツバ(青ミツバ)：葉柄が青く、長さは15～20cm位のもの。スーパーで常販されている根にスポンジのついた水耕栽培のミツバは糸ミツバに分類されています。

切りミツバ(白ミツバ)：遮光処理を加え茎と葉柄を白く、収穫近くに葉は陽に当て緑にし長さは30cm前後で根を切り落としたものを言います。

根ミツバ：春に15cmほど土寄せをし白茎を作り、土の上に葉が出て15cmほどになったら、根も食するため根付きのまま収穫したもの。

旬に食べる：春に食するのが一番美味しいです。種は初夏に播き、株を育てながら夏～初秋に1～2回収穫します。その後、株を育て茎葉が枯れたら晩秋に10cmほど高畠になるように土寄せして、春にミツバの葉が出てきたら根ごと収穫すると、葉柄が白く葉が緑の旬の美味しいミツバが収穫できます。多年草ですが、年々品質が悪くなり、管理・収穫の手間がかかりますので、一年草として栽培します。

栽培はやや日陰のやや湿りのあるところが適地ですが、春にやや陽当たりの良いところで育ったミツバは、いつもの脇役が主菜を押しのけるほどの香り味を示し最良の山菜になります。



糸ミツバ(青ミツバ)



根ミツバ

1月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にご相談ください。

緑の相談受付 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

豊平公園 811-9370 月曜以外毎日 (月祝日の場合は、翌平日が休み)

12/29 ~ 1/3 は年末年始のため休館します。

平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付しておりません。

	作業時期			作業内容
	上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木・果樹・花木・	雪害からの保護		冬囲いの補強と点検、樹冠や枝の雪落としを継続し、枝折れを防止する(特にアカマツ、クロマツ)。 道路際の生垣や庭周りの小低木は、除雪や落雪による損傷に注意。 枝折れなどが発生した際は、損傷部の修復を早めに行う。
	盆栽	花後管理		松竹梅の寄せ植えなどは、観賞後早めに個別に分けて5 前後で管理するか、地面まで雪を掘って鉢のまま雪をかぶせておく。
鉢花	温度管理			シクラメン、アザレア、プリムラ類等は10 ~ 20 の日当たりの良い窓辺に置いて管理する。鉢花は環境の変化を嫌うので、こまめな移動は避ける。
	水やり			鉢を持ちあげて軽く感じたら十分に灌水。受け皿の残り水は捨てる。
	施肥			シクラメン、プリムラ類、ベゴニア類など開花を続ける鉢は薄めの液肥を与える。
	病害虫防除			ウドンコ病、灰色カビ病、カイガラムシ、ハダニ、アブラムシ等の早期発見と防除。
野菜	スプラウト作りを楽しむ			マメ類、ソバ、麦、大根など。
	貯蔵野菜点検			先月に続き貯蔵野菜類の状態点検。取り出した後の再格納はしっかりと。
室内園芸	温度管理			シンビジウム、デンドロビウムなど比較的低温性の株は10 ~ 20 の明るい場所。コチョウランなどは18 ~ 25 で管理する。
	水やり			生育最低温度が保てる場合、鉢が軽くなり植込資材が乾いたら十分与える。デンドロビウムに花芽がついている場合も同様。
	施肥			成長を続ける種類は液肥を与え、シースや蕾の出ている株には与えない。
多サ 肉ボ 植物 ン	温度管理			花後のシャコバサボテン、カラソコエなどは、10 位の明るい場所で管理。
	水やり			アロエ、クラッスラ等は灌水を控える。冬型種(アエオニウム、リトープス等)は用土が乾いたら灌水。
観葉植物	水やり			鉢を持ちあげて軽く感じたら十分に灌水。受け皿の残り水は捨てる。
	施肥			成長を続ける鉢(ポトス、オリヅルランなど)は、月1 ~ 2回、夏より薄い液肥を与える。成長を休んでいる鉢には与えない。
	病害虫防除			カイガラムシ、ハダニ、アブラムシ等の発生に注意。早期発見、早期防除が肝要



Q シンビジウムを暖かい居間で鑑賞していたらどんどん蕾が黄色くなり落ちてきました。何が原因でしょうか？対処法も教えてください。

A シンビジウムは高温が苦手で、10 ~ 20 の涼しい温度でのびやかに育ちます。

日中が25 ~ 30 、夜が20 以上ある環境では、花や蕾が黄色くなり落ちることが多くなります。一日暖房の入らない部屋があれば、そこで管理するのが最適です。暖かい部屋しかない場合は、夜だけでも温度の低い廊下や玄関に移動します。

特に入手したばかりの開花株は、環境の変化によるストレスでさらに花や蕾が落ちやすい状態です。開花中はいきなり暖かい部屋に入れず、やや日当たりが悪くても、涼しい環境維持を優先し、ご自宅の環境に徐々に慣らしていきましょう。

また、暖房により湿度が下がるため、乾燥でも花や蕾が落ちやすくなります。加湿器のそばに置くか、こまめに葉に霧吹きをして湿度を上げる工夫をしましょう。

園芸 Q & A

Q テーブルに置いて楽しめる小型のシンビジウムがあると聞きました。栽培にチャレンジしたいので、初心者でも上手に育てる方法を教えてください。

A 小型のシンビジウムの多くは、「テーブルシンビジウム」の名前で流通しており、高さは 40 ~ 50cm 程度とコンパクトで限られたスペースでも栽培できます。

耐寒性が強く、性質も丈夫なので初心者の方でも始めやすいランです。
以下を参考にチャレンジしてください。

置き場所…5 ~ 10 月は最低気温が 10 以上になったら戸外に出し、日当たりで育てます。
徐々に慣らせば直射日光でも大丈夫です。秋は霜に当たらないうちに室内に入れ、冬は明るい 10 ~ 20 の涼しい所で管理します。

水やり…4 ~ 5 号サイズの小さな鉢で育てる場合が多く、大鉢のシンビジウムよりも乾きが早くなります。用土が乾き、鉢が軽くなったら底から出るまでしっかりと与えましょう。春と秋は週に 2 ~ 3 回、夏は毎日、冬は週 1 回程度が目安です。与える水は、一晩汲み置いて常温になりカルキが抜けたものを利用すると、根に負担がかからず順調に育ちやすくなります。

肥料…4 ~ 8 月に 2,000 倍希釀の液体肥料を 7 ~ 10 日に 1 回程度、あわせて 4 ~ 7 月に緩効性肥料を月 1 回置き肥します。9 月以降は肥料が残らないようにすることで花芽ができやすくなります。

植え替え…花後の新芽が動き出す 4 ~ 5 月頃に植え替えをします。洋ランバーク 2 : 火山レキ（軽石）1 の混合土と、プラスチック製の長鉢の組み合わせがオススメです。市販の洋ラン用土は軽石が多く、水はけがよすぎる場合があるので、洋ランバークを同量くらい追加して調整するとよいでしょう。



シンビジウム（左）と
テーブルシンビジウム（右）

イベント情報（1・2月）



百合が原公園

☎ (011)772-3511

<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込
【クラフト講習】 木の実のミニリースづくり	1月26日(日)	①10:00~12:00 ②13:30~15:30	各1,000円	各5名	1/11(土)~
【園芸講習】 洋ランの育て方	2月2日(日)	13:00~14:30	300円	20名	1/11(土)~
【クラフト講習】 ミモザと春のお花のバスケットアレンジ	2月9日(日)	13:30~15:30	4,500円	12名	1/11(土)~ 2/2(日) 申込多数の場合 抽選
【イベント】 飛び込み参加大歓迎♪	開催期間	時間	教材費	定員	申込
緑のセンターで楽しく制作、ワークショップ <small>小さなお子様や初めての方でも短時間で簡単に楽しく挑戦できるワークショップです。公園内の植物を花材に「ハーバリウム」や「プレートスワッグ」といったクラフト雑貨の制作ができます。1/4(土)からはハーバリウムづくり1/15(水)からはプレートスワッグづくりの予定</small>	1月4日(土)~ 1月19日(日) ※休館日を除く	10:00~15:00	1,000円	無し	不要 当日現地にて受付

キャンドルイベント

スノーキャンドルの灯りを ともそうin豊平公園2025

スノーキャンドル・アイスキャンドルの
ライトアップ

日時：1月18日（土）16:30～18:00

場所：緑のセンター警察署側玄関横広場

アイスキャンドルの点灯 百合が原公園

アイスキャンドルのライトアップ

日時：1月21日（火）～26日（日）（6日間）
16:15～17:15

場所：緑のセンター前

まちに灯りをinみどりーむ 平岡樹芸センター

キャンドル点灯

日時：1月25日（土）16:00～17:30

場所：樹芸センター駐車場

※駐車場はありませんので、

公共交通機関でお越しください。

新たな年の始まりに冬の花々



屋外は真っ白な景色が
広がっていますが、百合が原
緑のセンターでは正月に欠かせない縁起の良
いウメや色や形が多彩な注目の冬花クリスマスローズ、鉢物のミモザなどもご覧いただけ
ます。1/28（火）からは華やかな洋ランが
一堂に会する【市民ラン展】も開催されます。



〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511

JR学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7～10分

百合が原公園

1月を彩るドンベヤの花



ドンベヤの蕾

緑のセンターアトリウムでは例年この
時期にドンベヤがピンク色の花を咲かせ
ます。

ドンベヤは、アフリカ・マダガスカル
原産の低木でアジサイをさかさまにした
ような花姿です。真っ白な季節に緑のセ
ンターで開花する愛らしい花と甘い蜜の
香りをぜひご堪能ください。



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分

展示会情報

豊平公園

椿ミニ展示

1/15（水）～1/26（日）



百合が原公園

市民ラン展

～市民参加のランの展示会～



1/28（火）～2/2（日）
※最終日は15時まで

福寿草と雪割草展
～春を告げる雪国の妖精たち～
2/4（火）～2/16（日）

